

0032454-000

特256-261

高山市勢要覽

岐阜県高山市

昭和16

AFB

特256

261

高山市勢要覽



高山市勢要覽

特256

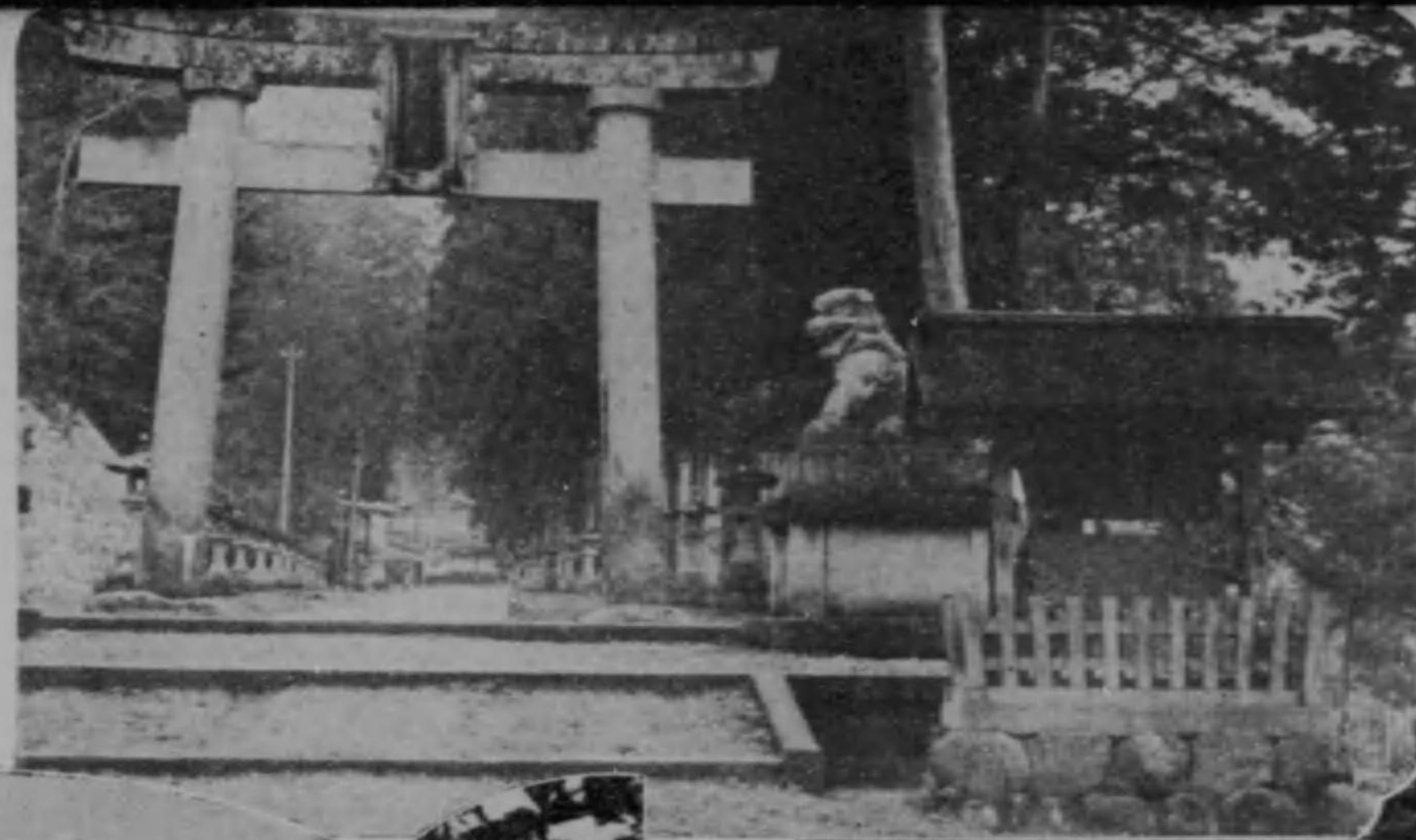
261





街市山高るた見り上園公山城

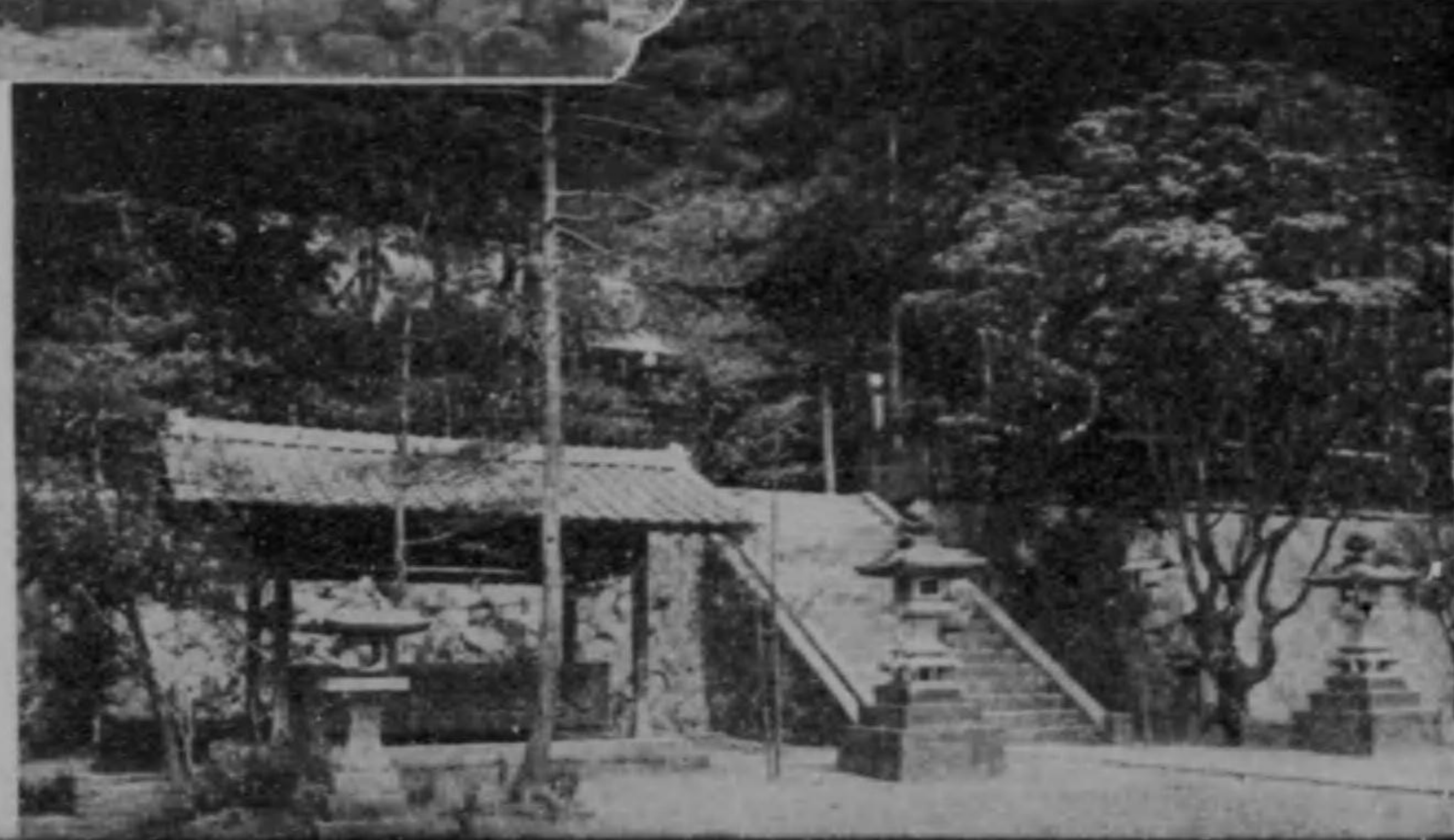
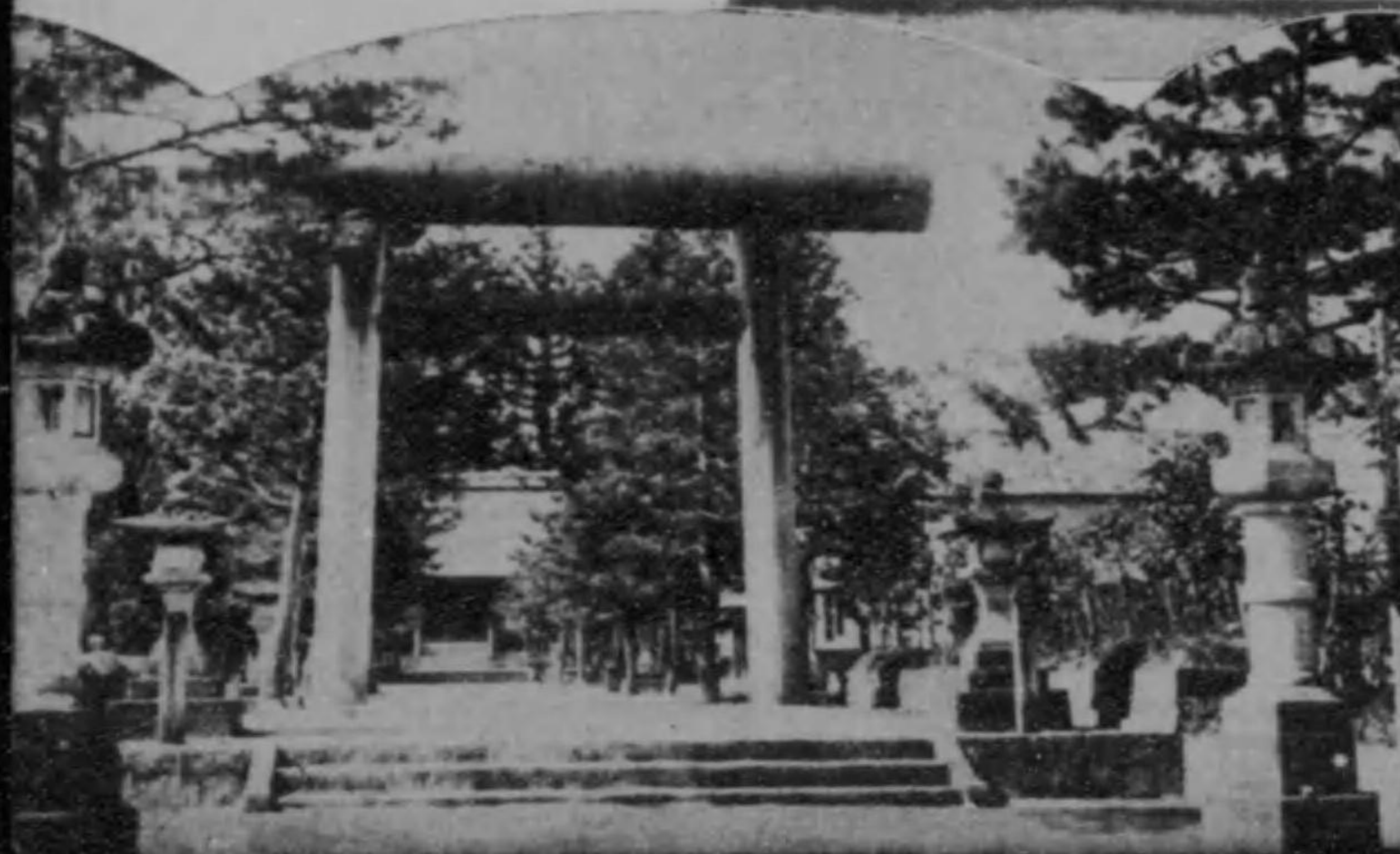
甲 256
261



縣
社
日
枝
神
社

縣
社
八
幡
神
社

縣
社
飛
騨
縣
社



飛
騨
國
分
寺



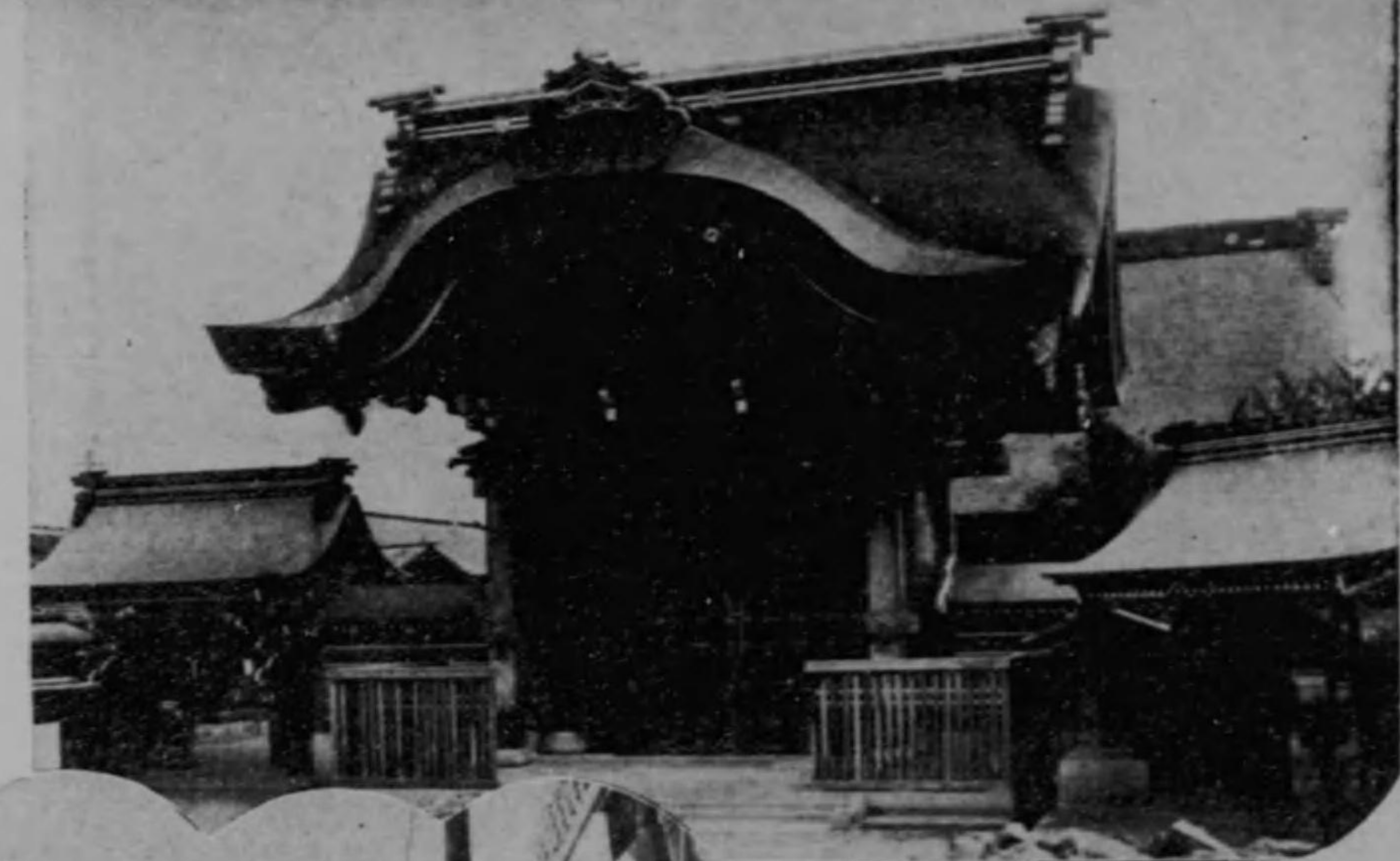
高
山
陣
屋
跡

文三の川



高山市上野町を望む

高山市本町通り



高山市別院

高山市二街町通り





高山零屋台



高山公園の櫻

高山市勢要覽

(昭和十五年)

地	勢	沿革	革
本市ハ飛驒高原ノ中央ニ位シ東經百三十七度十六分、北緯三十六度九分ニ在リ、海拔五百七十三米(約千九百尺)ノ高地ニシテ飛驒國第一ノ山岳都市デアリ。市街ノ東ハ城山、東山ノ丘陵低ク臥シ西ニ城趾松倉山ガ崛起シ更ニ其ノ支脈中山ノ小丘北ニ走リ其ノ間所謂高山盆地ヲナシテ居ル。飛驒縱貫鐵道高山本線ハ市街ヲ縱斷シ、富川ノ清流ハ街ノ中央ヲ北ニ流レテ幹流トナリ、江名子川ハ東部ヲ流レテ宮川ニ注ギ、又西ノ部ハ昔川南ヨリ北ニ貫流シテ市ノ北端ニテ宮川ニ合流シテ居ル。東方遙ニ雄大ナテアルアスノ連峰ヲ一眸ニ數、西ニ遠ク白山ノ秀峰ヲ望ミ氣候概テ溫和ニシテ四時移リ行々特異ナル風光ト山河自然ノ間ニ無限ノ詩趣ト幾多ノ傳説ヤ口碑ヲ藏シ遊覽者ノ感興ヲツ、ルモノガ多イ遊覽都市デアリ。	高山ノ地名ハ古ク八百六十年前承保ノ頃カラ既ニ記録ニ現ハレテ居ル。然シ高山盆地ソノモノハ上古ヨリ國府ノ地デアリ、當初ノ國分寺伽藍堂塔モ構築サレ上代文化ノ搖籃地トヘアツタガ、高山ツノモノ、發祥ハ室町時代永正年中ニ高山外記ガ天神山(今ノ高山公園)ニ城廓ヲ構ヘタニ始マル、天正十三年(約三百五十年前)豊大開ノ幕將越前大野ノ城主金森長近ガ越中ヨリ飛驒ニ入り國内ヲ平定シテコ、ニ封セラレ、同十年此ノ舊城ニ再ビ城ヲ築キ城下ノ市井ヲ創營シタノガ街トシテノ体裁ヲ備ヘタ始メデアリ。金森氏ハ六代百七十年間在住シタガ元祿五年領皆出羽ノ國上之山ニ移封ヲ命ゼラレ其ノ後徳川幕府直轄天領ノ地トシテ慶應四年迄二十五代百七十七年間代官、郡代ノ治政下ニ置レカダ。	廢藩置縣ニ依ツテ明治元年五月飛驒縣ノ管轄トナリ飛驒縣ハ同年六月高山縣ト改稱セラレ、明治四年十一月高山縣廢止ニ依リ筑摩縣所轄トナリ、明治九年八月筑摩縣ノ廢止ニヨツテ岐阜縣ノ管轄ニ屬スルニ至ツタ。明治二十二年七月町村制實施ト共ニ高山町ト稱シ、大正十五年十月灘村ヲ合併、昭和十一年十一月一日隣接大名田町ト合併シテ市制ヲ施行シ高山市ト稱スルニ至リ飛驒全土文化ノ中心、物資ノ集散地トシテ將又	

地勢・沿革・名所舊蹟

東海、北陸ヲ繋グ鐵道高山本線ノ主要地トシテ農興リ、工業
 エ、商振ヒ日ニ月ニ發展シテ今ヤ中部日本ニ於ケル樞要ノ都
 會トナリ益々隆運ニ赴カントス、是レ其ノ沿革ノ梗概ナリ。

名		所		蹟	
高山公園	(史蹟)	高山	陣屋	飛驒	護國神社
<p>高山市街ノ東南ニアリ飛驒國主金森長近ノ居城址 面積六萬六千余坪南ニ接續スル山王公園ヲ合セル ト十萬坪ニ及ブ、市街ヲ一望眼ニ收メ満山老杉 古松聳立チ櫻、楓其ノ間ヲ點綴シテ頗ル風致ニ富 ミ又園内到處日本アルプスノ展望ヲ志ニシ風光 明媚眞ニ天下ノ名園タルニ恥ヂナイ。 尚二之九趾ニハ「軍神廣瀨中佐」ノ銅像ガアル、 中佐ハ嚴父重武氏ガ高山裁判所長タリシ時弟妹ト 共ニ少年時代ヲ煥章學校(今ノ東小學校)ニ學ン ダ緣故ニヨリ建設セラレタモノデアアル、公園一帯 昭和八年史蹟ニ指定セララル。</p>	<p>現今ノ飛驒支廳、本町通りノ南端ニアリ、往昔飛 驒國主金森氏ガ下屋敷トシタ處ニ當時ハ二千八百 四十坪アツタト傳ヘラレテ居ル、元祿五年徳川幕 府ガ之ヲ沒收シテ飛驒代官ノ治所ニ當テ、慶應四 年迄百七十七年間高山陣屋ト稱ヘ政務ノ行ハレタ 處ニ現在ノ建物ハ文化十三年(約百二十年前)ニ 改築セラレ其ノ後數度ノ變遷ニヨツテ構エハ大ニ 縮少セラレタガ表門、玄關、奥庭、郷倉ハ今猶舊 態ヲ存シ全國ニタ、一ツシカ殘ツテキナイ代官屋 敷デアアル。 昭和四年高山陣屋趾トシテ史蹟ニ指定セララル。</p>	<p>高山公園ノ麓ニ鎮座ス舊城漆ニ臨ミ境内ヲ櫻ノ大 樹ヲ埋メテ居ル、元神道中教院ノアツタ處ニ今尙 廣ク(忠孝苑)ト呼ビ、西南ノ役以來飛驒國ヨリ 出征殉國セラレシ勇士ノ靈ヲ祀ル、本殿ニ隣シテ 「黃金神社」ガアル、金山奉行宮嶋平左衛門及茂 住宗貞ヲ祀リ俗ニ「金ノ神」ト言ヒ崇敬者國中ニ 及ブ高山公會堂及飛驒物産館ハ其ノ近クニアラル。</p>	<p>高山公園ノ南麓ニ鎮座ス日枝大山昨神ヲ祀ル、天 正ノ末國主金森長近ガ高山城築造ニ當リ此地ニ 奉遷シテ城ノ鎮守ト仰ギ崇敬ノ厚カツタ神社デア ル、毎年四月十四、十五日ノ兩日ガ例祭登山王祭 ト稱シ壯嚴ナ神興ノ渡御ト華麗ナ屋臺ノ練行トハ 其ノ名全國ニ鳴リ響イテ居ル。</p>	<p>北山公園ノ麓ニ鎮座ス、仁徳天皇ノ御宇兩面宿禰 ガ御仁政ニ逆キ奉ツタノデ武振熊命ガ勅ヲ奉ジテ 入國シ、宿禰ヲ誅伐セラレタ時此地ニ應神天皇 ヲ祀ツテ其ノ奉告祭ヲ行ハレタ靈場ト傳ヘラレテ 居ル。毎年九月十四、十五日ノ兩日ニ行ハレル例 祭ハ八幡祭ト稱シ屋臺ノ練行、祭式ハ山王祭ト共 ニ當地ニ於ケル春秋ノ二大祭トシテ森嚴優美ヲ天 下ニ誇ツテ懼ラヌ神事デアアル。</p>	<p>市ノ北方七日町ニ鎮座ス、式内八社、式外十神及 斐陀國造ノ神大八椅命ヲ祀リ、總社ガ森ト呼ンデ 居ル往昔國司任國ノ時國ノ神拜所トシテ尊崇ノ深 カツタ神社デアアル、文政三年田中大秀翁ガ古來ノ 傳承ニヨリ神慶ヲ改築シテ祭祀ヲ復興シ、今日ニ 至ル。 毎年五月五日ガ例祭ニ莊嚴ナ祭儀ガ行ハレル。</p>

名415
 120
 日枝神社

名		所		蹟	
松壽寺	(東照宮社)	飛驒總社	縣社	八幡神社	縣社
<p>市ノ西郊松倉山ノ麓ニアリ、金森重頼ノ創建ニ係 ル郷社東照宮社ヤ金森長近ヲ祀ル金龍神社ガアル 四季ノ眺望一トシテ佳ナラザルナク、盆地ノ俯瞰 ト日本アルプスノ展望ヲ志ニシテ春秋行樂ノ地ト シテ杖ヲ曳ク客ガ絶エナイ。</p>	<p>國分寺通りニアリ聖武天皇ノ朝各國ニ創建セラレ タ國分寺ノ一ツデアアル、本堂タル藥師堂ハ足利時 代ノ建築デアリ本尊藥師如來ト聖觀音菩薩ハ行基 ノ作ト傳ヘラレ、寺寶タル平家ノ重寶「小鳥丸」 ノ古刀ト共ニ何レモ國寶ニ指定セラレテ居ル、又 境内ニハ樹齡一千年ヲ經タル天然記念物ノ大公孫 樹ヤ史蹟ニ指定セラレタ創建當時ノ塔ノ礎石ガア リ其ノ由緒ヲ物語ツテ居ル。</p>	<p>市ノ北方七日町ニ鎮座ス、式内八社、式外十神及 斐陀國造ノ神大八椅命ヲ祀リ、總社ガ森ト呼ンデ 居ル往昔國司任國ノ時國ノ神拜所トシテ尊崇ノ深 カツタ神社デアアル、文政三年田中大秀翁ガ古來ノ 傳承ニヨリ神慶ヲ改築シテ祭祀ヲ復興シ、今日ニ 至ル。 毎年五月五日ガ例祭ニ莊嚴ナ祭儀ガ行ハレル。</p>	<p>市ノ北方七日町ニ鎮座ス、式内八社、式外十神及 斐陀國造ノ神大八椅命ヲ祀リ、總社ガ森ト呼ンデ 居ル往昔國司任國ノ時國ノ神拜所トシテ尊崇ノ深 カツタ神社デアアル、文政三年田中大秀翁ガ古來ノ 傳承ニヨリ神慶ヲ改築シテ祭祀ヲ復興シ、今日ニ 至ル。 毎年五月五日ガ例祭ニ莊嚴ナ祭儀ガ行ハレル。</p>	<p>北山公園ノ麓ニ鎮座ス、仁徳天皇ノ御宇兩面宿禰 ガ御仁政ニ逆キ奉ツタノデ武振熊命ガ勅ヲ奉ジテ 入國シ、宿禰ヲ誅伐セラレタ時此地ニ應神天皇 ヲ祀ツテ其ノ奉告祭ヲ行ハレタ靈場ト傳ヘラレテ 居ル。毎年九月十四、十五日ノ兩日ニ行ハレル例 祭ハ八幡祭ト稱シ屋臺ノ練行、祭式ハ山王祭ト共 ニ當地ニ於ケル春秋ノ二大祭トシテ森嚴優美ヲ天 下ニ誇ツテ懼ラヌ神事デアアル。</p>	<p>市ノ北方七日町ニ鎮座ス、式内八社、式外十神及 斐陀國造ノ神大八椅命ヲ祀リ、總社ガ森ト呼ンデ 居ル往昔國司任國ノ時國ノ神拜所トシテ尊崇ノ深 カツタ神社デアアル、文政三年田中大秀翁ガ古來ノ 傳承ニヨリ神慶ヲ改築シテ祭祀ヲ復興シ、今日ニ 至ル。 毎年五月五日ガ例祭ニ莊嚴ナ祭儀ガ行ハレル。</p>

名所舊蹟

名		所		舊		蹟															
高山別院	市ノ東方ニアリ後鳥羽天皇ノ第十二皇子嘉念坊善俊上人ヲ開基ト傳ヘ、天正十六年國主金森長近ガ白川郷中野カラ茲ニ移シタモノデアアル。寺號ヲ照蓮寺ト稱ヘ俗ニ御坊様ト呼ビ構造輪奐ノ結構ヲ極メ飛騨國第一ノ大伽藍デアアル。	山岡鐵舟	明治維新ノ功臣山岡鐵舟先生ガ幼年ノ頃、弘化二年カラ嘉永五年ニ至ル約七年間父ト共ニ高山陣屋ニ起居シ文武ノ道ヲ手解キサレタ處デ、東山宗猷寺ニハ飛騨郡代トシテ此ノ地ニ卒シタ父「小野朝右衛門高福」夫妻ノ墓ト「鐵舟ノ碑」ガアル。	加藤光正ノ墓	寛永年中此ノ地ニ流滴サレタ、加藤清正ノ嫡孫「豊後守光正」ノ墓ガ東山法華寺山内ニアリテ、同寺ニハマタ貴重ナ遺品ヲ藏シテ居ル。	東山	市街ノ東部ヲ劃シテ東北ニ走ル、小丘地帯ノ總稱デ此ノ一帶多數ノ神社佛閣ガ點在シ恰モ京都ノ東山ヲ譽ルタラシメテキテ別項宗猷寺、法華寺ノ外國守金森長近一族ノ菩提寺素玄寺ヤ、庭園ノ美ヲ備ヘタ大雄寺等其ノ他歴史的ニ著名ナ箇所ガ尠クナイ。	(史蹟) 田中大秀翁墳墓ト 荏野文庫址	市ノ東郊江名子ニアリ松室洞ト稱ス、翁ハ本居宣長ノ高弟ニシテ大平翁ト親交深ク國典雅樂ニ通ズ文化十四年此ノ地ノ式内住名神社ヲ再興シ社側ニ隱棲シテ敬神尊皇ノ道ヲ鼓吹シ皇國學ヲ唱導スルコト三十年弘化四年九月十六日歿ス、享年七十一大正四年十一月十日御即位大典ニ際シ特旨ヲ以テ正五位ヲ贈ラル、著書中、竹取物語解、養老美泉辯、荏野册子最モ有名ナリ。荏野神社ニハ當時ノ「荏野文庫址」ガ史蹟トシテ現存シテ居ル。	原山	高山驛ヨリ二軒余、山麓迄自動車ガ通ジ、スキー場ヘ徒歩僅ニ六百米、北アルプスノ展望ヲ恣ニスル高台デ初心者ノ練習ニ好適ナ高山市外隨一ノスキー場デ完備シタ鐵道省ノ原山ヒニツテガアル。	松倉城址 (史蹟)	市ノ西郊ニアアル三木自綱ノ居城址デ史蹟ニ指定セラレテ居ル、高山盆地ノ俯瞰ハ勿論日本アルプス白山連峰ヲ始メ、四圍ノ山々ヲ眺メルコトノ出來ル高山近郊隨一ノ景勝地デアアル。又山中ニハ慈覺大師作佐々木高綱ノ持佛ト稱セラル、當國七觀音ノ一ナル馬頭觀世菩薩ヲ安置シ其ノ緣日八月十日ハ牛馬安全養蠶豐饒祈願ノ爲遠近各地カラ參籠スル人デ雜踏ヲ呈スル。	國幣小社 水無神社	高山ヨリ四軒余、(飛騨一ノ宮驛下車便宜)俗ニ一ノ宮ト稱シ、祭神ハ、御歳神、高照姫命、天照御魂神、及斐陀國造ノ遠祖、天照國照彦火明命ヲ祀ル、神域誠ニ宏大森嚴、毎年九月二十五日ノ祭禮ニハ古催馬樂ノ遺韻ヲ傳フル有名ナ神代踊ガ行ハレル。マタ、神寶ニ飛國工ノ作ト傳フル「眼拔神馬」等ガアル。	中部山岳 國立公園	信飛、信越國境上數十里ニ亘ツテ巒々トシテ起伏セル飛騨山脈中所謂北アルプスノ山岳地帯ヲ占メ面積一六九、七六八ヘクタール、飛騨、信濃、越中越後ノ四ヶ國ニ跨リ我國國立公園中最大ノ廣袤ヲ有シ白馬、鷲羽、槍、總高、乘鞍等ヲ始メ、一、五〇〇米以上ノ高峰峻岳ヲ續立スルコト實ニ四十余座ニ及ブ。觀光、登山、スキー、キャンプ等ノ各方面ニ多種多様ニ傑出シタ要素ガアリ、平湯、上高地等ノ靜寂ナ温泉境ヤ黒部、双六等ノ原始境トニ依ツテ特ニ其ノ聲價ヲ擧ゲテキル。	矢立杉 (天然記念物)	市内八軒町一本杉白山神社境内ニアリ、民族學上「矢立杉」ニ屬スルモノ、尖根ノ鉄鐵ガ射立テラレタ歴史上有名ナ神木デアアル。	婦節 小出ち女	小出ち女ハ寛政年中ノ飛騨郡代小出大助照方ノ妻女デ、貞淑善ク夫ニ事ヘ、舅姑ニ奉ジ、又ヨク子女ヲ教ヘ、禮節ヲ重シ儉素ヲ守ツテ家政ヲ整ヘタ節婦デ、國定教科書高女一年用修身卷ニ良妻賢母ノ範トシテ其ノ事蹟ノ一端ガ記サレテアル。市内一本杉白山神社ノ境内ニ其ノ小出郡代寄進ノ水鉢ガ記念物トシテ殘サレテキル。

名所舊蹟・土地

一、本書ハ市勢ノ概要ヲ通覽スルノ便ニ供スル目的ヲ以テ編纂セリ。
 一、本書ハ主トシテ昭和十四年中ノ事實ヲ掲ゲタルモ靜態ニ屬スルモノハ昭和十四年末若クハ昭和十四年度末ノ事實ヲ掲載セリ。

高山市役所		面積	所在	東經	北緯	海拔
大字三町一、二、七番地	大字江名子字東俣	四、二八八	大字西之一色字アハラガ洞	一三七度一六	三六度九	五七三米
大字石浦字二之瀬谷	大字松本字上野坂	(二、七八)	極北	一三七度一六	三六度九	五七三米
極東	極西	極南	極北	九、三五〇米	(約二、四里)	九、八五〇米
御料地	內務省所管	其ノ他	計	一四〇町二反	一六町八反	一三〇町二反
官有地	反別	賃貸價格	計	一四〇町二反	一六町八反	一三〇町二反
民有地	無租地	有租地	免租年期地	一四一	一、〇三九	一、〇三九
	其保計	其原山宅畑田		一、〇三九	一、〇三九	一、〇三九
	計	他野林地		一、〇三九	一、〇三九	一、〇三九
	計	他野林地		一、〇三九	一、〇三九	一、〇三九

業農		格價產生		口		戶	
業農	數戶家農	工水鑛林畜農	計	數戶別業職	動態人口	出入人口	昭和十四年末
副業	計	產產產產產產	價額	工鑛水業	(本籍人)	男	昭和十四年末
自作	小自作兼	七、三〇一、〇〇六	現住一戶當	業農	計女男	女	昭和十四年末
小作	計	九七九、八七	現住一人當	其ノ他	出生	計	昭和十四年末
計		二〇八、三〇		計	死亡	計	昭和十四年末
				計	死産	計	昭和十四年末
				計	婚姻	計	昭和十四年末
				計	離婚	計	昭和十四年末

戸口・生産價格・農業

業		事		會		社	
法護保子母 助扶ル依ニ		護救ル依ニ法護救		營經會人婦市山高		營經會仕奉山高	
埋養生 計育活 扶扶 葬助助	計	理醫生 計生活 扶扶 葬療助	方面 委員	園育保西山高		助救	
				計女男	設立	園育保期繁農	園育保家の鳩
人員	金額	世帶主 人員	世帶數 人員	計女男	設立	江冬下西石 名岡ノ 子頭本色浦	北東鳩の家保育園
				入	退	開	退
八〇一四三八人	一〇三二〇一三八元	八九一〇九一人	二〇七三四戶	八二四二五	二、五九五	三三三三三人	五五五人
六四九元	一、一八三元	三、六八八元	一、七〇〇元	八二四二五	二、五九五	三三三三三人	五五五人

業		事		會		社		生		衛	
營經會仕奉山高		金資業生額小山高 所付貸		屋質益公市山高		衛生組合		分處芥塵		痘種	
院育養	計女男	利償貸 子還付	大正一一・六	設立	利流辨貸 子質濟付	設立	聯合會	七	運搬車	人員	第一期
八三五人	八三三人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
三二一人	三二一人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
一一五六人	一一五六人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
七四三人	七四三人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
七四三人	七四三人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
四一三人	四一三人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人
一一一人	一一一人	三、三三六元	三〇、六一元	三、三三六元	三、三三六元	三、三三六元	六、三三二	六、三三二	六、三三二	六、三三二	七、〇一〇人

415
120

昭和十六年四月十日印刷
昭和十六年四月十五日發行

岐阜縣 高山市

岐阜縣高山市大字川西八三番地
印刷者 住 敏 三

岐阜縣高山市本町三丁目
印刷所 高山印刷合資會社

